2月27日の診療見学の感想

この度はお忙しい中、外来診療見学と訪問診療に同行させて頂き、ありがとうございました。１日と長いようで短い時間ではありましたが、浅野先生をはじめスタッフの皆さんのアットホームな雰囲気を感じることができました。

朝のミーティングから始まり、午前中は外来診療の見学をさせていただきましたが、今まで実際の医師の診察を見たことがなかったのでとても良い経験となりました。私自身、体調が悪い時や不安がある時に受診するせいなのか、診察を受けるのもとても緊張してしまい、病院というものにあまりプラスのイメージはありませんでした。しかしあさのクリニックでは患者様を診察室に呼び込む際、先生が扉をあけて直接呼び込まれているのを見て、診察室に入る前から先生の顔を見ることができるので、安心して診察室に入ることができるのだと思いました。待合やスタッフの方の心地よい雰囲気作りも含めて、患者様に払うおひとりおひとりの気遣い・おもいやりが落ち着ける‘あさのクリニック’という一つの空間が作っているのだと感じました。話を聞く姿勢や、話すテンポ、相槌、話の切り出し方のひとつひとつの対応に気を付けられている点があり、薬剤師になった時に生かせることをたくさん吸収できました。

また、在宅では、病院以上に患者様との距離がぐっと近くなっているように感じました。最近何があったのか日常についてもゆっくり家にいることでリラックスして話をされていたように思います。また、患者様だけでなく家族の方にとっても訪問診療に来られる時間というのは、直接先生や看護師の方と話ができるので特別なときなのではないのかなと思いました。訪問診療に同行させていただくことで、在宅の現場とはどんなものなのか、薬剤師として何ができるか、求められているのは何なのか、一部分だけではありますが話を聞くだけではわからないことを直接感じることができ、自分でしたいと考えていたことが、まだまだ狭い視野での考えなのだと気付くことができました。

また、先生が認知症の方とお話しする際に、手を握って目を見てお話しされているのを見て、バイタルチェック以外であっても薬剤師は患者様に触れてはいけないと無意識に感じていることを思い出しました。しかし、その意識のせいで自然と咳が止まらない方の背をさする、立ち上がるのに困っていそうならば手を差し伸べるなど、人として当然のことまで置き去りにしていたのではないかと思いました。

将来薬剤師として医療に携わるうえで、いまの自分に足りていないスキルや考え方が具体的に考えることができるようになったことで、もっともっと学ぶことがあるのだとモチベーションを向上させることができました。とても有意義な時間を過ごさせていただき、この経験を無駄にしないよう、今後も学び続けていきたいと思いました。本当にありがとうございました。